

2014 年度手賀沼の生き物調査（魚類・貝類・プランクトン）

手賀沼水生生物研究会 鈴木 盛智



1. 根戸下
2. 大津川河口
3. 大津川ワンド
4. 沼南園
5. 親水広場棧橋
6. 温泉排水口
7. ハス繁茂帯内
8. ハス繁茂帯外
9. 岩井新田
10. ビオトープ下
11. FS センター棧橋
12. 曙橋南岸

【6月1日】主に水質・生物調査(魚貝類、プランクトン)を行った。今まで未調査域の水路も調査した。

	4	4 水路	6	6 水路	12	12 水路	5
時刻・水温	9:30 27°C	9:30	10:30 27.9°C	10:30	13:30	13:30	11:34 25°C
透視度 (cm)	21 cm		21 cm				
モンドリ (6) 30分	0	0	0	0	モツゴ:1、スジエビ:5	0	
ガサガサ		フナ、タイリクパラタナゴ、ヨシノボリ、ドジョウ		フナ、ハゼ科の魚、メダカ、スジエビ	12	モツゴ、フナ、スジエビ	
ケイソウ類	少ない		少ない		ヒメマルケイソウ類多い		少ない
藍藻類	ユレモ少し		少ない		ユレモ多い		ユレモ>マイクロキスティス類
緑藻類	ユードリナ>クンショウモ				クンショウモ>ユードリナ、ミドリムシ類		クンショウモ類、ユードリナ
動物プランクトン	ツボウムシ		ワムシ>ミジンコ>		ハネウデワムシ>ツボウムシ>ミジンコ類		ツボウムシ

【9月6日】魚類調査は主にモンドリ[㊦]を使用し、特徴的な各地点で定量調査を実施した。水温が高いこの時期はモンドリを使用した調査には適していて例年多くの魚を確認できる。船から降りられる調査場所ではサデ網によるガサガサもおこなった。昨年多く捕れた場所では少なく、年ごとに魚の付き場所が違う傾向が見られた。ハス繁茂帯内側は例年にない大漁だった。

	1	10	11	7	8	6
時刻・気温	9:20~9:50 23.5°C	10:55~11:25 26°C	12:00 27°C	13:20	13:20	
㊦30分	㊦(6)(6)	㊦(6)(6)	㊦(6)	㊦(6)	㊦(6)	
モツゴ	123	226	391	131	498	
タイリクパラタナゴ	11	2	85	23		
スジエビ	○多数	20	57	7	17	
テナガエビ	15	○	○稚魚多			
ヨシノボリ	○	○	1			
ヌマチチブ	○		1			
ツチフキ	1	1			1	動物プランクトン:ハネウデワムシ>ツボウムシ>ミジンコ
コイ		1	○			
アメリカザリガニ				4		
ブルーギル					2	

【3月7日】この時期は水位が低く、透明度も高いため貝類の調査に向いている。当日は小雨が時折降る寒さであったが、風がないため沼の水の透明度が20cm以上あり、貝の調査には大変いい条件であった。貝類の生息に適した地点の底質が、昨年に比べてヘドロが少なくなり改善している印象があったが、今回発見できたのは貝殻が多く、ごく小さい貝殻もあり、それもごく最近死んだ可能性が高い。また、手賀沼フィッシングセンター沖の近くで、ごく新しいカラスガイ貝殻を発見した。